

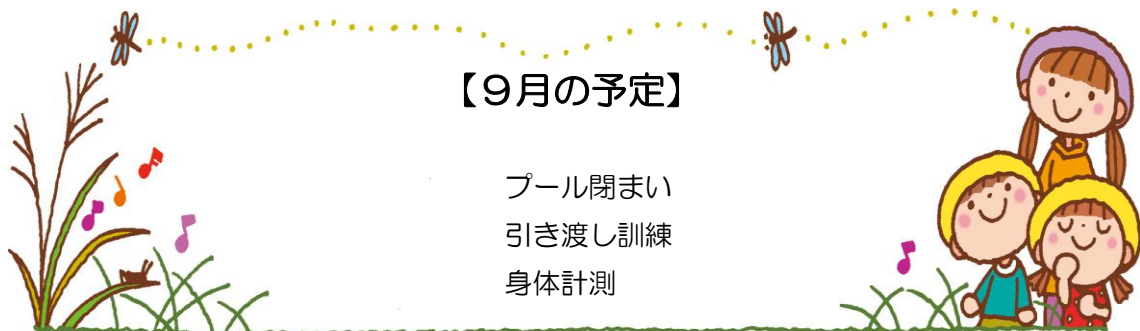


# 9月園だより

令和8年9月1日

目黒区立原町保育園園長

保育園の玄関で少し遅咲きのひまわりが夏を惜しむように咲いています。7月から始まった水遊び・プール遊びもたくさん楽しむことができました。水遊びでは、カップやひしゃく、ビニール袋等いろいろな物を使ってみたり、色水、氷など水を変化させてみたりしながら水のおもしろさや気持ちよさを味わっていました。プール遊びでは、はじめは水しぶきに背を向けていた子も顔に水がかかることも楽しめるようになりました。5歳児は保育園で最後のプール遊びです。水面に顔を「3」つけてみようの保育士の声かけに水面に顔を近づけてスタンバイ、「せーのっ1・2・3」のカウントに合わせて水面に顔をつける子たちもいれば、おでこをつけて気持ちはつけている子、3のカウントでピチャと顔をつける子と様々な姿ですが挑戦する気持ちの伝わる子どもたちです。プールが始まる前に一人ずつ目標を掲げていた5歳児です。幼児クラスのこどもたちは、プール閉まいでこの夏の成果を見せ合う予定です。子どもたちそれぞれの夏の体験が自信になり、次へのステップになることと思います。できるようになった喜びや挑戦した勇気に共感し今後も新しいことに挑戦して楽しむことのできる保育をしていきたいと思います。



## ～子どもたちのつぶやき～

### ～蝉シリーズ～

クラスにある蝉の抜け殻をみた子どもが「いつになったら起きるのかな」とつぶやいていました。蝉の抜け殻自体を虫だと思ったようです。

(いちよう組)

蝉の抜け殻を見やすいように虫かごにいれていると「もううまれたの？どこにいるの？」と虫かごの中で羽化したと思った様子で観察していました。

(ぽぷら組)

日々の保育の中で、各クラスの担任や保育園職員が、思わず笑ってしまったり、ほっこり温かい気持ちになる仕草や言葉、おもしろかった子どもたちのかわいい会話を紹介します。

おやつにじゃこがでると、「この、ちんあなごおいしい！」と嬉しそうに食べていました。

(さくら組)

味噌汁に入っていた人参をみて「これは、(調理さんが)きょうりよくしてちょっきんしてくれたの？」と保育士に聞いていました。

(いちよう組)





## ～プール遊びの様子 3. 4. 5歳児クラス～



### 『 水と仲良しになった夏 』 3歳児クラス さくら組

初めてのプール活動ではじめはドキドキしていた子どもたちでしたが、水に入ると「きゃー！冷たい！」「気持ちいい！」と笑顔いっぱいになっていました。水がちょっと苦手な子もいましたが、気持ちよさそうにワニやアヒルになって楽しんでいる友達の姿に刺激を受け、やってみようと姿勢をかがめて挑戦する姿が見られました。また、広いプールにたくさんのボールを浮かべてとったり、沈む透明ビーズを水が顔にかからないようにしながら手を伸ばしてたくさん拾ったり、泳ぐことだけではない「楽しい」もいっぱい経験しました。「先生、雲がきれい！」という声があり、ワニ泳ぎからぐるんと体の向きを変えて仰向けのよう姿勢になり、みんなで一緒に空を見たことも楽しい思い出です。この夏に経験したわくわくした気持ちや挑戦しようとする気持ちを大事にこれからの様々な活動にもつなげていきたいと思います。



### 『 とびきりの笑顔 』 4歳児クラス ぽぷら組



7月の始めはまだプール遊びに慣れておらず、水がかかりそうになるとプールの外側に顔をむけて水がかからないようにする姿もありました。顔を水につけるといことは、とても勇気がいることなので、プールに入りながら遊びのなかで顔が自然に水に近づくように、きれいな色の宝石拾いをしたり、カラーボールで遊んだりして楽しんできました。ある日、今までワニ泳ぎのときに顔を上に向けていた子が、息をたくさん吸いこむと「えいっ」と水面に顔をつけたのです。「すごいね」と保育士や友達に声をかけられると、とびきりの笑顔がかえってきました。友達のする姿を認め合う素敵な言葉も聞こえてくるようになっていきます。できた喜びが自信につながってきているぽぷら組の子どもたちです。



### 『 みんなで作って遊ぼう、IKADA 』 5歳児クラス くすのき組

プールにたっぷりの水を入れて、全身をダイナミックに動かしたり浮力や水の抵抗を感じたりしながら潜る、泳ぐ、イルカジャンプなど自分の好きな動きでプール遊びを満喫しています。プールに慣れてきた頃、「友達と一緒に乗って遊べる浮き玩具を作ってみない？」と提案すると「いいねー、作りたい」と即答する子どもたちです。まずは、どんな物がプールで浮くのか考えてみると、先日ペットボトルを使ってプールで遊んだ事を思い出した子が「ペットボトルはどうか」と提案してくれました。これには満場一致で「いいね」と即決。次に『何本使ったらいいのか』『どの様に貼り合わせていけばいいのか』などを皆で話し合いながら作りました。プールに入る前に、「みんなで作ったイカダ、何人乗れるかな」と話すと「ペットボトルのつなぎ目に穴があいているからもしかしたら沈むかも…」と心配の声があがりました。「沈んでしまったらもう一回作り直そう」とみんなで約束して、早速作成したイカダ乗りに挑戦。まずは一人乗りから慎重に試していきます。乗ろうとするとイカダが動いてしまいなかなか乗れずに困っていると、近くにいた友達が乗りやすいように押さえてくれて、押し出してくれました。最終的にぎゅうぎゅう詰めで5人乗っても沈まずしっかり楽しむことができました。友達と協力や工夫をしながら自分たちで作ったイカダを楽しみ、保育園生活最後のプール活動がより充実したものとなりました。

